

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本語 D	
科目基礎情報							
科目番号	0282			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	『実力日本語（下）』						
担当教員	田村 修一						
到達目標							
日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得したことが顕著に認められる。			日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得したことが認められる。		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得したと認められない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	以下の文法的内容を中心に学習する。CDを利用したリスニングも毎週行い、「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の4 方面から日本語の技能を高める。						
授業の進め方・方法	CDを用いて、「聞く」・「話す」訓練を行う。講義は文法的解説を中心とする。プリントの問題演習での定着をはかる。映像教材も適宜使用する。						
注意点	成績評価は、上記の到達目標に基づき、以下の内容の理解についての到達度を評価の基準とする定期試験による（100%）。 研究室 B棟3階（B-303） 内線電話 8905 e-mail: tamuraアットマークmaizuru-ct.ac.jp （アットマークは@に変えること。）						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	シラバス内容の説明、可能動詞（「田中さんは英語が話せます」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		2週	時の経過「するまで」（「荷物が着くまで一週間かかりました」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		3週	状態表現「～は～が」（「象は鼻が長いです」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		4週	自発的な感覚作用（「この花はいいにおいがします」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		5週	条件「たら」（「もし、雨が降ったら、いきません」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		6週	勧め・提言（「休んだほうがいいです」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		7週	義務・必要（「私は行かなければなりません」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	過去の経験（「私は外国へ行ったことがあります」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		10週	比較・同等（「兄は弟より背が高いです」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		11週	二者間の比較（「東京と大阪ではどちらが人口が多いですか」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		12週	「ことにする」・「ことになる」（「中庭で食べることにしました」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		13週	理由・原因「ので」（「疲れたので、休みました」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		14週	強調構文（「休んだのはきのうです。おとといではありません」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		15週	条件「と」・追加の接続助詞「し」（「雨も降ったし、風も吹きました」）		日本語の文法的知識を核として、1 聞く、2 話す、3 読む、4 書く、の4 技能を総合的に習得する。		
		16週	後期期末試験、後期期末試験返却、到達度確認				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0